

第5学年 社会科学習指導案

1 単元名 「わたしたちの生活と工業生産」－工業生産と工業地域－（東京書籍）

2 単元について

- 本単元は、学習指導要領の内容(3)を受け、我が国の工業生産について、「ア 様々な工業製品が国民生活を支えていること」「イ 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など」「ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き」を調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えさせることをねらう。

本小単元では、ア、イに重点を置き、我が国の工業生産が国民の生活の向上や産業の発展に果たしている役割について考えさせることをねらう。我が国の各種の工業生産や工業地域の分布や特色について追究させる際、工業生産の種類や工場の立地条件から自分たちの住んでいる小城市と対比させて考えさせる活動を取り入れる。また、工業生産が抱える社会的な問題として「工場の立地と環境保全」を取り上げ「意思決定を取り入れた討論型の学習」を行うことで、これからの日本の工業生産について考えさせる。これにより、農業・水産業が基幹産業である小城市芦刈町に住む児童が日本の工業生産を身近な事象として捉え、我が国の工業生産が国民の生活の向上や産業の発展に果たしている役割を考えようとする意欲を高めることが期待できる。さらに、これからの我が国の工業生産に対する自分の考えをもたせる中で、児童は、日本の工業生産について深く考えることができると思う。

- 本学級では、学習に対して意欲的で自ら発表する児童が多い。また、友達の考えを聞きたいとの理由からペアやグループでの学習を好む傾向にある。グループでの話し合いでは、司会者を中心に進められ、多様な考えに触れることができている。また、全体の前で発表するときは、グループで話し合ったことをまとめて発表することができている。課題に対しては、個々の生活経験や既習の知識、教科書の言葉を答えることはできる。しかし、グラフや図から読み取れることを根拠にして自分の考えやその理由を答えたり、書いたりすることができる児童は少ない。

児童は小学3年生のとき、地域の人々の生産についての学習を農家の仕事を中心に学習しており、小城市の工業については見聞きしている程度である。このため、工業を身近に捉えられないことが予想される。一方、総合的な学習の時間に環境に関する学習をしており、環境に対する意識が高い。

- 指導に当たっては、まず、工業という言葉からウェビングの手法を用いて工業に対するイメージを膨らませる。その際、児童から生活経験や身近な地域で見聞きしたことが多く出されると予想されるため、小城市の工業製品を具体的に分類させ、工業の種類について調べさせることで日本の工業に対する興味・関心を高めさせたい。これにより、小城市では食料品工業が最も盛んな工業であり、あまり大規模ではないことを確認する。次に、工業を発展させるにはという視点から工業が展開している地域や特徴を予想させることで、学習問題Ⅰ「小城市の工業を発展させるために、日本の工業の特色や工夫について考えよう。」を設定する。

学習問題Ⅰの追究活動では、提示した写真から分かることやグラフから読み取れることを関連付けながらグループで考えさせ、気付いたことや分かったことを基に学習問題Ⅰをまとめていく。その際、我が国には様々な規模の工場が多く集まっている工業地帯や工業地域があること、様々な条件を生かしたり克服したりしながら高い技術を生かした生産活動を行っている工場があること、運輸は工業生産を支える大切な働きをしていることなどを理解させる。また、工業生産の具体例として、小城市の食料品工業も取り上げる。その際、豊かな水や豊富な原料などが欠かせないことを確認し、環境対策も工業の発展には欠かせないことに気付かせる。

最後に、工業地域は大きな都市に重なっていることから、工場を増やすとわたしたちの生活がよ

り向上する一方で、環境に配慮する必要があるという矛盾点に気付かせ、学習問題Ⅱ「小城市は、食料品の工場をもっと増やすべきか」を導き出す。その後、これを論題に意思決定を迫ることで、学習問題Ⅰで得た知識を根拠にし、自分の考えをもたせることで理解を深めさせたい。さらに、討論会の意見交流を基に自分の考えを見直させることで、児童の社会的な思考力・判断力・表現力を育てたい。

3 単元の目標

我が国の工業生産や工業地域の様子について、地図、統計、写真などの資料を活用して調べ、各種の工業生産や工業地域の分布などが分かり、工業生産の現状や特色から国民生活との関連や工業生産の発展について考えるようにする。

これまでに学習したことを踏まえた上で、これからの工業生産の発展について考え、資料や論題を基にした議論の内容を根拠にして、自分の考えを適切に表現することができるようにする。

4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	観察・資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
○我が国の工業生産や工業地域の様子に関心をもち、工業の種類、工業地域の分布について意欲的に調べている。 ○我が国の工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることやこれからの工業生産の発展を考えようとしている。	○我が国の工業生産や工業地域の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ○我が国の工業生産の特色や現状を国民生活と関連付けて、国民生活を支えている役割や工業生産の発展を考え適切に表現している。	○地図、統計、写真などの資料を活用して、我が国の工業生産や工業地域の特色や現状について必要な情報を集め、読み取っている。 ○日本の工業生産や工業地域の特色や現状について調べたことを地図や作品などにまとめている。	○我が国の各種の工業生産や工業地域の分布などを理解している。 ○我が国の各種の工業生産や工業地域の分布、工業生産を支える運輸などの働きが国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解している。

5 単元計画（全8時間 本時6/8）

過程	主な学習活動(○)	教師の働き掛け(○)	【主な評価】(・)	時配
学習問題をつかむ	○工業について知っていることを出し合い、工業の種類や小城市の工業生産の様子について知る。 ○小城市の工業生産の様子を基に学習問題Ⅰと学習計画を考える。	○ウェビングの手法を用いて工業という言葉から連想されることを出し合わせ、身近な工業製品と結び付けさせながら、工業の種類や小城市の工業生産について関心をもちさせる。 ○日本の工業生産についての疑問や調べたいことを出させ、工場の広がり方や特色から学習問題Ⅰへ導く。	・我が国の工業生産に関心をもち、日本の工業の特色や工夫についての学習問題を考え、調べようとしている。 【関】	1
	小城市の工業を発展させるために、日本の工業の特色や工夫について考えよう。《学習問題Ⅰ》			
	○日本で工業生産が盛んな場所や盛んな工業の種類について調べる。	○日本の工業地帯や主な工業地域について、位置、生産額、種類などの調べる観点を提示して調べさせる。	・日本の工業地帯や主な工業地域について、位置、生産	

調 べ る	○調べたことを基に日本の工業生産の広がりとその理由について考える。	○調べたことを日本地図に整理させ、主な工業地域の分布や工業の種類に気付かせる。	額、種類などの調べる観点から資料を読み取り、まとめている。【技】	1
	○工業地帯や工業地域から製品の輸送方法を基に、運輸に携わる人々の工夫を調べる。	○製品を運ぶ物流について、鉄道、船、トラックなどの輸送方法と工業地域や鉄道、港、道路などの位置とを地図を基に関連付けさせる。	・我が国の工業生産や国民生活が、交通網の拡充や物流の仕組みによって支えられていることを理解している。【知】	1
	○工業地帯や工業地域と運輸の働きとの関係について調べる。	○工業生産が盛んな地域と運輸の関係性に気付かせることで、交通網との関係を考えるようにさせる。	・工業地域の特色ある工場の生産の様子について理解している。【知】	1
	○工業生産が盛んな町について、鯖江市と大田区の工場を例に調べ、日本の工業生産の特色について調べる。	○鯖江市と大田区の工業生産の特色について、歴史や技術を調べる観点として提示し、資料を基に調べさせ、それぞれの工業生産の共通点を考えさせることで、日本の工業生産の特色に気付かせる。	・小城市で食料品工業が盛んな理由について考え、適切に表現している。【思】	1
考 え ・ ま と め る	○学習問題Ⅰの解決について検討し、小城市では食料品工業が盛んな理由について、資料や既習事項を基に考える。	○食料品工業が盛んな理由について、製品の資料や工場の分布が分かる地図を基に、地域的特色や原料から考えさせる。これにより、小城市のきれいな水や豊富な原料に気付かせる。	・学習問題Ⅱ「日本の工業は、これから工場の数を増やしていくべきか。」について、意思決定したことを適切な言葉で表現している。【思】	1 本 時 (6/8)
	論題 日本の工業は、これから工場の数を増やしていくべきか。《学習問題Ⅱ》			
	○学習問題Ⅰのまとめを基に、小城市の工業生産の発展について考えることを例にして、これからの日本の工業生産の在り方について考える。(意思決定1)	○日本の工業地域について、工業の種類、都市の大きさなどを視点にまとめさせ、小城市と比べる観点とする。 ○小城市を例に工業生産の発展によるよい点と問題点を考えさせることで、日本の工業生産においても言えることに気付かせ、よい点と問題点を比較させることから学習問題Ⅱを導き出す。		
	○討論会に向けて、自分の考えを補強するための調査活動を行う。	○学習問題Ⅱについての自分の考えを補強するために、主張、データ、理由付けの視点から自分の考えを整理し、説明させる。	・学習問題Ⅱについて、調べたことをまとめている。【技】	1
○学習問題Ⅱについて討論会を行い、単元のまとめとして、自分の考えを総合的にまとめる。(意思決定2)	○学習問題Ⅱを論題とし、自分の考えを判断が違う他者と交流させることで、自分の考えを見直させる。	・学習問題Ⅱについて、自分の考えを多面的、総合的に見直し、適切に表現している。【思】	1	

6 本時の目標

日本の工業生産の特色についてまとめ、これからの小城市の工業生産を発展させていくための方策は日本の工業生産を発展させることと同じであることに気づき、日本の工業生産を発展させることについて自分の考えをもち、自分なりの根拠を基に表現することができる。

7 展開(全8時間 本時6/8)

学 習 活 動	教師の働き掛け(○)と評価【】
<p>1 学習問題Ⅰ「小城市の工業を発展させるために、日本の工業の特色や工夫について考えよう」のまとめをする。</p> <p>2 学習のめあてをもつ。</p>	<p>○日本の工業地域の特色を、既習事項を使ってまとめ、日本の工業生産と小城市の工業生産にはそれぞれの役割があることに気付かせる。</p> <p>○学習問題Ⅰの解決について問い掛けることで、前時の学習を想起させ、めあてを導き出す。</p>
<p>めあて これからの小城市の工業(から日本の工業)を考えよう。</p>	
<p>3 なぜ、小城市の人たちは工場を誘致したいのか、工場を増やした場合のよい点を考える。</p> <div data-bbox="183 907 683 1164" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈予想される考え〉 工業誘致の理由から 工場が増えることのよい点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町が大きくなって便利になる。 ・町にお金がたくさん入ってくる。 ・町で働く人が増える。 など </div>	<p>○小城市の人たちへのアンケート結果を提示し、小城市に工場を誘致してほしいという考えが多いことを示す中で、小城市で工場を増やすことに焦点化する。</p> <p>○アンケート結果の資料やこれまでの学習を基に工場を誘致したときのよい点(メリット)についてグループで考えさせる。</p> <p>○調べたり、考えたりしたことを発表させる際に、教師は短い言葉で意味付けを行い、児童がよい点を総合的に考えやすいようにする。</p>
<p>4 工場を誘致した場合の問題点を考える。</p> <div data-bbox="183 1265 683 1478" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈予想される考え〉 工場が増えることの問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場の周りは音がうるさい。 ・水がよごれる。 ・空気がよごれる。 など </div>	<p>○工場を誘致した場合の問題点(デメリット)について、これまで学習したことや生活経験の中から予想させる。</p> <p>○よい点と問題点を板書していく中で、教師が意味付けした、「便利さ」、「収入」、「環境」、「住みやすさ」などの視点を対峙させ、「これは、小城市だけのことかな」と問い掛けることで、これからの日本の工業を考えているということに気付かせる。</p>
<p>5 工場を誘致した場合のよい点と問題点を比較させ、よい点と問題点をそれぞれ一言でまとめさせる。</p> <div data-bbox="151 1691 694 1825" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>社会的な問題(解決すべき事柄) 「工場の立地は、環境に配慮する必要があること」</p> </div>	<p>○教師が意味付けた視点を基に、よい点と問題点との間に対立する問題を見付けさせるために、よい点と問題点がそれぞれ大切にしていることをグループで考えさせる。</p> <p>○グループタイムでは、それぞれが何を大切にしているのかという視点から話し合いを進めさせる。その際、観点については、これまでの社会科学習で、児童と共につくり、蓄積させてきた、社会的な見方や考え方を言葉で表した「社会めがね」を基に考えさせる。</p>
<p>6 グループで話し合ったことを発表し、学習問題Ⅱをつくる。</p>	<p>○各グループから出た考えをまとめていく中で、「工業の発展」と「環境問題」という、判断が分かれる2つの考えを引き出し、「あなたはどちらを大切にするか」</p>

	と問い掛け，学習問題Ⅱへ導く。
論題 日本の工業は，これから工場の数を増やしていくべきか。《学習問題Ⅱ》	
7 本時の振り返りとして，学習問題Ⅱについて，現在の自分の考えをワークシートに記入する。 (意思決定1)	○学習問題Ⅱについて，これまで学習したことを基に自分の考えを記述させる。【評価】 ○足りない情報について問うことで，次時への意欲付けとする。
8 次時の学習について確認する。	○自分の考えをもつことができたことを称賛し，次時の討論会の準備で自分の考えについて根拠を明らかにし，増やしていくことで，説得力が増すことを伝える。

8 本時の評価

本時の評価規準	日本の工業生産の特色についてまとめ，これからの小城市の工業生産を発展させていくための方策は日本の工業生産を発展させることと同じであることに気付き，日本の工業生産を発展させることについて自分の考えをもち，自分なりの根拠を基に表現することができるか。(社会的な思考・判断・表現)		
判定基準 (判断のめやす)	「十分満足できる」状況(A)	「おおむね満足できる」状況(B)	「努力を要する」状況(C)
	学習問題Ⅱについて，学習したことを理由にして意思決定し，調べたいことや必要な資料についても記述している。	学習問題Ⅱについて，学習したことを理由にして意思決定し，記述している。	(B)に達していない記述
→(B)，(C)と判断した児童への支援策		→根拠を明らかにするために，他に何が分かればよいか考えさせ，記述させる。	→板書を基にこれまでの学習を振り返らせ，意思決定した理由を記述させる。
評価方法	ワークシートの記述		